



Monthly Report

ロータリーは機会の扉を開く

RI会長：ホルガー・クナーク 会長：今城広治 幹事：田村禎啓
例会会場/JRホテルクレメント高松3階「玉藻の間」 毎週水曜日 12:30~13:30



2020-21年度 3月31日 第30回

日時/令和3年3月31日(水) 12:30~
場所/JRホテルクレメント高松

会長挨拶 会長 今城広治

「中村厳友さんと近藤さんが、それぞれ栄転とお聞きしました。お二人には大変お世話になりました。新天地でもますますのご活躍を期待しております。」

3月18日(木) 高松養護学校に訓練用の自転車を贈呈しました。当日は、私が所用のため欠席しましたが、田村幹事、秋山ロータリー財団委員長、岡佳寿也前ロータリー財団委員長、松本会員、林会員の5名が出席してくださいました。地区補助金を用いた活動ですので、2年に渡り計画して来たものがようやく形にすることができました。岡佳寿也さんには申請書類の作成から財団との打ち合わせなど多々ご迷惑をおかけしました。また、松本会員、林会員にも養護学校との連絡等お世話になりました。引き続き、財団への事後報告などは秋山委員長にお世話になると思っておりますが、よろしく願いいたします。コロナ禍でこのような活動が出来たのは、高松南ロータリークラブ全ての皆様のご理解があった賜物と理解しています。ありがとうございました。

客話 (独)水資源機構関西吉野川支社吉野川本部 本部長 益山高幸 様



「水の安全と安心」

四国は四国山脈より南側で雨が多く、北側で雨が少ないという地域的偏在があり、過去、高松では高松砂漠と呼ばれるような渇水に見舞われたほど水の確保には苦勞していました。一方、高知県に降った大雨は吉野川を下って下流部の徳島県に大きな被害をもたらしていました。

これら四国各地域の水を巡る苦勞の歴史を解決するため、吉野川上流に早明浦ダムをはじめとするダムや水路等の施設を建設する吉野川総合開発計画が昭和41年に立案、実施されました。

早明浦ダムは、かけがえのない故郷を移転いただいた大川村385世帯の方々をはじめ、水源地域の多くの方のご理解ご協力のもと建設されたダムで、吉野川における水資源開発水量の殆どを担っており「四国のいのち」と言われる由縁となっています。

早明浦ダムで貯えられた水は、吉野川の流量に応じて補給され、徳島県三好市にある池田ダム貯水池から香川用水をたどり香川県に届けられており、香川県で使用される水道水のうち約46%は吉野川からの水です。

水資源機構が管理する池田ダムでは、香川県や吉野川下流域で安定的に用水を取水できるよう降雨等により日夜刻々と変化する河川流量に対応するため、24時間体制で貯水位を管理しています。

また、香川用水では、吉野川が大雨で増水すると流木など様々な塵芥が流下しますが、取水に支障が生じないように昼夜にかかわらず取水口で塵芥の除去作業を行っていますし、田植え

が始まる時期や収穫時期により取水量が変動する時期は、水路各所に設置された調節堰等を土地改良区と連携して職員全員で導水操作を対応しています。

本日の講演をきっかけに、香川県の水源である早明浦ダムを訪ね、大変美しくすばらしい自然環境の中で私達の暮らしを支えている大切な水と一緒に、水源地域の魅力を是非体験していただきたいと思っております。

幹事報告

例会変更 他クラブ WB掲示

ココニコ箱

田村会員「このたびは、亡父の葬儀に際しまして、ご厚志を頂戴いたしまして、誠にありがとうございました。おかげ様をもちまして通夜、告別式を滞りなく、済ませることが出来ました。ここに謹んで御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。」

SOBHANI会員「ゴルフ一日優勝しました。2001年以来、20年ぶりです。三宅先生、篠田さん、白井さんお世話になりました。おかげさまで」

小野会員「結婚記念の花ありがとうございました。夫婦とも記念日忘れてました。ロータリーの花束で思い出しました。」

吉田会員「一日会のゴルフ場を間違えました。平井さんはじめ、皆さんにご迷惑おかけしました。こんな私ですが、よろしく」

森(篤)会員「お先に失礼いたします。」

計¥13,000 合計¥449,000

会員掲示板

- メークアップ
- 田中(理)会員、岡(隆)会員、松木会員、小野会員、前田会員、田村会員、上村会員
- ロータリーソング
- 「四つのテスト」
- ソングリーダー 大西会員

4月7日・14日・21日の3回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休会

2020-21年度 国際ロータリー第2670地区香川第I・第II分区 合同インターシティ・ミーティング(IM)

日時/令和3年4月24日(土) 13:00~15:30

場所/善通寺市民会館

講師 山口真由氏

テーマ「世界の潮流 日本の現状~ロータリアンとSDGs」



善通寺市民会館にてRI第2670地区香川第1・第2分区合同インターシティミーティング2021が開催されました。

高松南RCメンバーも参加しました。

講演は「世界の潮流日本の現状~ロータリアンとSDGs」というテーマで山口真由氏に講演を頂きました。いろいろな切り口からの見解をデータと比べながら本質的な内容でした。「そこまで言って委員会NP」でのスマートなコメントはもちろん

例 会

ですが、誰からも愛されるのは、聞く耳を持っているからかもしれません。次期IMのホストは我が高松南RCです。一致団結して良き会が開催されるよう努めます。

会員掲示板

●メークアップ
今城会員、中村会員、篠田会員、太田会員、林会員、多田会員、森(恒)会員、堀(祥)会員、田村会員

2020-21年度

高松南RC創立64周年記念例会
4月28日 第31回

日時/令和3年4月28日(水) 12:30~

場所/栗林公園商工奨励館 北館

会長挨拶

会 長 今城広治



「高松南RCと栗林公園の縁」

高松南RCは1957年(昭和32年)4月26日創立で、64周年を迎えました。

1961年(昭和36年)以来、現在も使用しているクラブバナーには、創立時のテリトリーのシンボリック的存在だった栗林公園の「箱松」をモチーフとしたデザインが取り入れられているように、クラブと栗林公園との縁は長く、深いものがあります。

1979年(昭和54年)には、栗林公園北口から芝生広場への小道と、園外の三木武吉像のところにハナミズキ(アメリカヤマボウシ)(通称:アメリカ花木)を植樹しました。

2005年(平成17年)には、ロータリー100周年記念事業として、栗林公園の発祥に大きく関わったといわれる西島八兵衛の顕彰碑を、商工奨励館中庭に建立しました。この西島八兵衛顕彰碑除幕式には、川北香川県副知事、今井正信ガバナー、そして八兵衛の出身地である三重県上野ロータリークラブからも8名のメンバーに参加していただきました。

2007年(平成19年)には、高松南RC創立50周年の記念事業の1つとして、西島八兵衛の陶板自画像を作製し、50周年記念式典で、来賓として出席していただいた真鍋武紀香川県知事に贈呈し、像は現在も商工奨励館1階に飾られています。

また1984年(昭和59年)、故牟禮米一会員がガバナーになる前頃から、毎年春の桜のシーズンには、花見を兼ねた新会員歓迎夜間例会を会仙亭で開催し、ジンギスカン鍋を囲んで親睦を深めていましたが、残念ながらその会仙亭は1998年(平成10年)に焼失しました。

その後は、4月26日前後のクラブ創立記念日前後に、掬月亭やガーデンカフェ栗林で、周年記念例会を、新会員歓迎会と兼ねて開催しています。

「それでは本日は、コロナに負けないように、太田さんの記念卓話を聞きながら、この栗林公園で厳かに高松南の64周年を祝いたしたいと思います。」

お祝いの挨拶

香川県栗林公園観光事務所 所長 國土富男 氏



みなさまこんにちは。ご紹介いただきました、この4月から栗林公園観光事務所にまいりました國土と申します。よろしくお願いたします。

本日は、高松南ロータリークラブ創立64周年記念例会の開催、誠にありがとうございます。また、記念の例会開催にあたり当栗林公園の商工奨励館をご利用いただき、ありがとうございます。

高松南ロータリークラブの皆様には、栗林公園をクラブのシ

ンボルの存在としてとらえていただき、これまで、園内でのハナミズキの植樹、西島八兵衛の顕彰碑の建立や自画像の寄贈、「栗林公園60景カルタ」の作成・贈呈をいただくなど、栗林公園の環境整備や知名度向上に多大なご貢献をいただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

本日は貴重な時間をいただきましたので、栗林公園の現況についてお話をさせていただきたいと思います。

〈栗林公園の現況について〉令和2年度の状況

○入園者数

昨年度は、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、外国との往来が制限されたり、都道府県を跨ぐ移動の自粛が呼びかけられました。

特に4月16日には緊急事態宣言が全国に広げられ、5月31日まで続きました。県内でも感染者数が増加したことから、感染拡大防止策として、当園も4月24日から5月31日まで臨時休園する対応を行いました。

当園の入園者は、ここ数年70万人台で推移していましたが、不要不急の外出の自粛や休園の影響もあり令和2年度は約36万人ということで、前年度の約半分に減っている状況です。

特に外国人は、前年度約13万人の入園者がありましたが、令和2年度は約3,600人と大きく減少しました。これは、台湾、香港、中国、韓国から高松への定期航空便の運休に伴い観光客が減少したためと考えられます。

今も外国からの人の移動の制限、県外への移動や不要不急の外出の自粛が続けられており、また、一旦再開したGO TOトラベル事業も再び中止となるなど、栗林公園にとっては厳しい状況が続いています。

○広報、イベント

このような中、栗林公園の活性化を図るため、新型コロナの感染対策を行ったうえで「栗林公園にぎわいづくり委員会」を中心に関係者と連携しながら各種のイベントを実施しました。どれも恒例になっているものばかりですが、

(実施したもの)

- ・10月に掬月亭での観月会
- ・11月~12月にフォトコンテスト
- ・2月に梅まつり
- ・11月には恒例となっている秋の夜間ライトアップを10日間実施し、秋のライトアップではこれまでで最高の28,084人の入園者がありました。

(やむを得ず中止したもの)

- ・3月~4月の令和2年春のライトアップ
- ・3月16日の栗林公園開園記念セミナー
- ・土日祝日の特産品等製作実演
- ・毎月1回の月釜
- ・6月の花しょうぶまつり
- ・8月の蓮見茶会

○和船の運航

大名気分になって南湖を周遊する和船も、好評を得て定着してきており、引続きPRを行っていきたいと考えています。

○コイヘルペスウイルス病への対応

平成30年に当園のコイがコイヘルペスウイルスの陽性であることが確認されたことから、園内の鯉を全部捕獲し、池の検査を実施しました。検査の結果、陰性が確認できた後、少しずつ回数を分けて新しい鯉を放流しました。令和2年度はコイサボ2の寄付金950万円余を活用し、11月にニシキゴイの放流式を行い、現在は、コイヘルペスウイルス病発生前の約700匹を上回る約750匹のコイが泳ぐまで回復しております。

○讃岐民芸館の改修

ここ商工奨励館の隣にある「讃岐民芸館」は昭和40年から45

例 会

年にかけて建てられた建物で、香川をはじめ各地の焼物、木工品、漆器など生活に密着した民具を収蔵、展示していました。建物が古くなってきたため、長寿命化計画に基づき昨年11月から約1年をかけて「新民芸館」の改築、「惜々亭」の改修工事を行っています。

令和3年度の状況

今年度も先日、東京、大阪、兵庫、京都の4都府県を対象に、4月25日から5月5日までの期間、3回目の緊急事態宣言が出されました。これを受けて香川県でも各種の対策が強化され、栗林公園においても、これまでの取り組みに加え、大型連休中は入園者の検温実施、マスク着用の徹底、園内での飲食の制限、和船運航時の定員を6人から原則4人にするなどの対応を行うこととしています。

新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない厳しい環境の中ではありますが、今後、国内でのワクチン接種が進み、人の交流が再開される時期に備え、引き続き栗林公園の魅力ホームページ、イベント情報誌、マスコミへの情報提供などにより情報発信するとともに、春、秋の夜間ライトアップなど恒例イベントを実施することにより、多くの方に栗林公園に来ていただけるよう、努めてまいりたいと考えています。

先日実施した春の夜間ライトアップには、新型コロナウイルスの感染急拡大を受け、最終日を中止したにも関わらず、9日間で1万9千人を超える方々に入園いただき、当園の恒例イベントとして定着してきていることがうかがえます。

新型コロナの感染拡大を防止するため、県内においても不要不急の外出については、慎重に検討するよう協力要請を行っているところですが、時には気分転換も必要ですので、密にならない時間帯を選んでいただき、適切な対策を行ったうえで、栗林公園を散策していただくことも、いいのではないかと思います。

園内にはたくさんのお花があります。今年は暖かい日が続いたこともあり開花時期がいつもの年よりも早くなっています。サクラ、はなみずきの季節は終わり、今はツツジや藤の花がきれいに咲いています。これからは、ハナショウブ、スイレン、ハスの花が楽しめますので、また、栗林公園にお越しいただきたいと思います。

皆様方におかれましては、今後とも特別名勝栗林公園の好感度や知名度の向上、さらに本県の一層のイメージアップやにぎわいづくりのために、御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

最後に、高松南ロータリークラブの今後ますますのご発展と、本日お集まりの皆様方の御健勝と御活躍を心より祈念いたしまして、私の話を終わらせていただきます。

友好クラブご挨拶 田辺はまゆうロータリークラブ 山本佳弘 会員



今回64周年記念例会に参加する事が出来て真に嬉しく思っています。高松南RCと田辺はまゆうRCのご縁は、ソバハニ会長年度にメイクアップに来た事から始まります。当時の菊池会長が帰る車の中で良いクラブに訪問出来て良かったとの思いから友好クラブ締結になります。今城会長が当時の幹事で私も幹事の縁で7年になります。昨年も例会参加と考えていましたがコロナ禍で残念しました。毎年一回は例会参加させていただいております。

この前ですが今城会長に問い合わせして一日会は開催していただくと返事で参加、不参加は此方の責任で考えますとの事で一日会参加も再開できました。高松南ロータリークラブとは良いご縁が出来ました今後とも宜しく願いいたします。

64周年記念例会真におめでとうございます。



記念スピーチ バストガバナー 太田英章 会員
「高松南ロータリークラブ64年の歴史を振り返って」

Celebrate Rotary 64 years! 創立64周年を祝しましょう。国際ロータリーの歴史は115年、東京ロータリークラブは100年、高松南ロータリークラブが64年の歴史という立ち位置になります。

50周年は、ゴールドジュビリー、60周年は、ダイヤモンドジュビリーですが、今はそれを越えてしまいました。

私、南クラブの語り部として、毎年、同じような事ばかり喋りますが、お許しをいただきたいと思えます。

高松南ロータリークラブは、昭和31年、高松ロータリークラブ会長であった、小児科の佐々木礼三先生が、春風堂の千切谷博氏を呼んで、高松にもう一つロータリークラブを作りたいので、尽力するように、要請されたところから始まります。当時の高松クラブの会員が、メイクアップをするためには、自動車に乗って坂出クラブへ行くか、連絡船(フェリー)に乗って岡山クラブへ行くしか方法がなく、どうしても高松市内に、もう一つロータリークラブを作らなかつたのでしよう。

そして、千切谷氏ほか数名のキーメンたちは、東奔西走して、やっと20人のチャーターメンバーをかき集めました。

会長は、大西義衛、幹事は、千切谷博、近藤良一、木村寿雄、福田定夫、秦健雄、平尾栄一、細溪源一郎、河村孝、辻雅文、久保亦三、牟禮政次郎、森繁治、中村幸一、西本共介、西村崇、大久保諒三郎、佐藤春吉、杉山直三、十川秀雄の20名でありました。(敬称略)

最初の例会場は、高松高校の東側にあった、産業会館グリルという、小さなレストランで、会費は月額2,000円でした。

例会場は、その後、香松会館、高松三越、琴電そごう、そして現在のJRホテルクレメントへと移ります。

昭和32年当時、日本にはまだ、ロータリー地区は、5つしかなく(現在は34)、我々の365地区は、大阪、京都、奈良、福井、滋賀、兵庫、和歌山、香川、愛媛、徳島、高知の府県を網羅した広大な地域で、大会や協議会は、大阪とか神戸で、行われていました。

四国電力常務であった、渡部兼雄さんと、太田製材所専務であった、私(太田英章)は、昭和32年12月20日、同じ日に入会した同級生であります。その後、この2人は、南クラブから第一代ガバナー、及び第四代ガバナーとなります。

ご承知の通り、当クラブは、渡部、近藤、牟礼、太田、豊田(敬称略)と、5人のガバナーを輩出しております。

渡部さんは、100才の天寿を全うされた方で、3世紀を生きたという、珍しい記録を持っているのです。西暦1900年生まれで、2001年死亡です。

1900年は未だ19世紀、そして2001年は既に21世紀ですから、19世紀、20世紀、21世紀と、足かけ、3世紀を生きたという、珍しい話であります。

弱冠25才の私が、ロータリークラブに入会したのは、三井物産の福田支店長と秦眼科の秦先生が推薦人となって、アメリカ留学から帰ったばかりの太田君が入会すると、何かと便利だから、ぜひ入会しなさいということでした。当時、東京ロータリークラブの会報は、全部英語で書かれており、タイプライターで打った、ガリ版刷りの会報が送られてきて、私は、その翻訳係りをさせられました。

そんな、まだ学生のような若い私が、大阪ロータリークラブへ、メイクアップした時、年配のロータリアンから、非常に、丁寧に應對されたことが、強く印象に残っています。早川電

例 会

機（シャープ）の創業者、早川徳次さんや、ゼネコン大林組のオーナー、大林芳郎さん、そういう大物が「よう来たな、まあここへおかけなさい」、と優しく話しかけられたのが、忘れられません。肩書きや年齢で、人を分け隔てしない、大阪クラブのロータリアンは、素晴らしいなあ、と感激したことでした。

昭和36年5月、東京で第52回ロータリー国際大会が開催され、昭和天皇皇后両陛下下、ご臨席及びお言葉をいただきました。印象に残っているのは、時の池田勇人総理大臣も出席されて、「もし、総理大臣という職業分類があれば、私もロータリークラブに入れてもらいたい」と言われたことです。それくらいロータリーというものは、値打ちがあったものでした。

昭和40年代、日本の高度成長の波に乗って、高松南クラブの会員は、高松の中央通りに陣取った、日本を代表する大企業の支店長さんたちが顔を揃えていて、活気に溢れていました。高松南ロータリークラブは、支店長クラブと言われたくらいで、財閥系商社、都市銀行、地元銀行、各種メーカー、保険会社、証券会社、ビール、ゼネコンなど全産業を網羅し、会員数80名を超え、一時は本家の高松クラブを凌駕する程の勢いでした。

しかし、バブルの崩壊、瀬戸大橋、ジェット空港などによって、高松市の拠点性が薄れ、出先機関の撤退が相次いで、高松南クラブの会員数も減少傾向にあります。その端的な例が、昔13行もあった都市銀行が、合併を繰り返して、今や、4~5行しかありません。皆さん、今の〇〇銀行は、昔、何銀行だったか思い出せますでしょうか？

ミズーリー州セントルイス国際大会に、一緒に参加した当クラブ3代目会長の、真鍋和之助先生は、旧制高松中学校4年生から、東京の旧制第一高等学校と東京帝国大学医学部を卒業された、高松きっての秀才です。耳鼻科のお医者さんでありながら、ホテルで一緒に部屋に泊まった私に、ご自分のイビキを、大変、気にしておられたのは、ほほえましい思い出です。

又、私が会長の時、テキサス州ダラスの国際大会に参加して、向笠広次RI会長エレクトと会い、ツーショットの写真を撮って、南クラブ会報の表紙に大きく載せました。

皆さん、日本人最初のRI会長は、東ヶ崎潔氏だと思っておられるでしょうが、厳密に言えば、東ヶ崎さんは日系アメリカ人です。純粋な日本人RI会長は、九州の向笠広次氏と、埼玉の田中作次氏の2人です。

田中作次氏は、ざっくばらんな田舎の好々爺のような人で、十数年前、ピチャイラタクルR I会長と一緒に、フィリピンマニラの大会で会ったのですが、「ボブ・コルタス理事が、Mr. Ota, Mr. Otaといつも言っていたのは、あんたのことか」と言ったのが初めての出会いでした。

それから、もう何十年も続いている、ニュージャージー州との学生短期交換事業、これは、豊田パストガバナーと共に、深くかかわってきたのですが、この事業を通して、ボブ・コルタス、ジョー・サイデル、スベン・シオンソンら、一流のロータリアンと親友になれたことは、私の人生の、宝物であります。

それから、1970年、大阪万国博覧会の時に、万博例会をやったのもいい思い出です。香川県内の数クラブが集まって合同例会をやったのですが、丁度私が幹事をやっていた時で、外国人も大勢参加し、日本語、英語両方で司会進行を務めました。あれから50年、再び大阪で万博が開かれようとしています。

家族会は、近頃ホテルでご馳走を食べるというパターンになってしまいましたが、昔は、みかん狩りとか、マツタケ狩りとか、自然の中で、のびのびと、健康的だったと思います。千疋のマツタケ狩りは、かごに山盛りの新鮮なマツタケを、どん

どん投げ入れて、すき焼きをしたのは忘れられません。塩江温泉、五色台、安戸池、津田の松原、鷲羽山、小豆島など、戸外で元気よく、ピクニックをやったものでした。

次に、ロータリー和合の秘訣は、「童心にかえる」こと、というお話をいたしましょう。ポールハリスは、その著書、This Rotarian Ageの中で、次のように言っております。「ロータリアンが、人として向上するためには、彼の中に童心を保存せしめることである。凡そ善良なる人間の心の中には、常に必ず童心がある。少年の人生を眺める眼には、汚れがない。」とっております。

神戸のガバナー直木太一郎さんが、すべからくロータリアンはみんな、童心にかえることが大切です。歌を歌ったり、出席をやかましく言ったり、多少やんちゃが過ぎた時、やいとをすえるのがSAAの役割です、と言っておられたのが印象的でした。

昭和33年3月のチャーターナイト（これは、認証状伝達式のことですが）この時には、まだ「手に手つないで」という歌は無かったので、お手手つないでという童謡、「靴が鳴る」を歌いました。この歌は、高知県安芸市の廣田龍太郎の作曲であります。

「お手手つないで、野道を行けば、みんな可愛い、小鳥になって、歌を歌えば、靴が鳴る。晴れたみ空に、靴が鳴る。」

さて、クラブ創立64周年ともなると、チャーターメンバーはもう一人も居りません。家族的な、和気あいあいとした雰囲気の中で、みんな仲良くやっていた当時を知る会員も、今は指折り数えるのみとなりました。

時の流れは、幻の如く、懐かしさと共に、一抹の淋しさを禁じえません。何しろ、当時のガバナーから、あなたは日本で一番若いロータリアンです、と言われた私が、いつの間にか、88才、米寿になって、四国地区で一番古いロータリアンになってしまったのですから！まさに、浦島太郎のような心境であります。

今日は、友好クラブ、田辺はまゆうロータリークラブから、山本さんが見えです。ようこそおいで下さいました。私が、最初に、田辺の鬮鶏神社にある、はまゆうロータリークラブの例会場を訪問して、1時間もの、長いスピーチをしたのが、もう、8年も前のことになるでしょうか。有名な梅干し、南高梅を発明した、田辺南高等学校の、もと校長先生や、田辺名物の、くえ鍋のご馳走、新車のベンツで、熊野古道を案内してくれた事など、懐かしく思い出します。毎年、紀州名物のミカンを送って下さり、本当にありがとございました。そして、あの時、幹事であった、山本さん、来年は会長に就任されるそうで、おめでとうございます。

最後に、高松南ロータリークラブ誕生に際し、佐々木礼三先生が、栗林公園の松の新芽が伸びる様子を「すくすくと 今伸び立ちし 松の芯」と詠まれましたが、今回、創立64周年に当たって、私も1首、作りたいと思います。

栗林公園商工奨励館、この建物の前にある巨木と、南クラブの、大いなる成長をかけて、

「亭々たり ヒマラヤ杉の 巨木かな」

どんなものでしょうか？

亭々の亭とは、掬月亭の亭、まいまい亭の亭、亭主関白の亭で、大木が 天に向かって、伸びる様子をいいます。お帰りの時、この建



例会

物前の、ヒマラヤ杉を、とくにご覧下さい。

それでは、とりとめのない、想い出話をいたしました。このあたりで失礼したいと思います。ご清聴、ありがとうございました。



高松南RC創立64周年記念

幹事報告

ロータリーレート 110円

例会変更 他クラブ WB掲示

ココニコ箱

ソバハニ会員「64周年おめでとうございます。Let's celebrate the 64years history. 8日に高松市美術館で展覧会をします。ぜひ見に来て下さい。」

詫間会員「誕生日有難うございました。72才、ますます元気です。もうです。」

小野会員「誕生日プレゼントありがとうございました。59才になりました。」

堀(一)会員「お誕生日プレゼントありがとうございました。ぬいぐるみを1つも買わないと固く誓って3年前に着任しましたが、すでに10びき増えました。意志の弱い私ですが1年間よろしく願います。」

会員掲示板

●メイクアップ

谷本会員、増尾会員、ソバハニ会員、前田会員、新地会員、森(敬)会員、岡村会員、田中(弘)会員、上村会員、森(恒)会員

●ロータリーソング

「それでこそロータリー」
ソングリーダー 平井会員

2020-21年度 5月12日 第32回

日時/令和3年5月12日(水) 12:30~

場所/JRホテルクレメント高松

会長挨拶

会長 今城広治



「今日は、コロナ禍ですが、うれしいお知らせがあります。新会員の3人(香川大学医学泌尿器科杉元さん、百十四白鳥さん、大和証券伊藤さん)を迎えての32回例会を開会致します。」

3月21日(日)田辺はまゆうRCの3人の有志(杉山会長・山本佳弘次期会長・廣畑さん)

を迎えての第4回一日会が開催されました。前日は、軽く親睦を深めて当日の坂出カントリークラブに向かいました。一寸先は霧の状態ですスタートし、大変な1日を想像していましたが、徐々に霧は晴れ、時々雨振りましたが、楽しいゴルフをすることができました。優勝はソバハニさん、準優勝は木田さん、「間違っ

て鮎滝に行ったで賞」をみごと吉田会員が獲得されました。いよいよ次回5月23日(日)は、予算もないのに、私のわがままで一回増やしてもらい、今城杯取り切りカップ(第5回一日会)を開催します。参加資格のある方もない方も奮ってご参加いただき、大いにラストを盛り上げてください。

スピーチリレー

合田弘朗 会員

ご指名頂きましたので、僣越ながら近況報告をさせていただきます。昨今のコロナ禍において、今までとの違いを実感しながら毎日を送っておりますが、この1年で私自身にも2つの大きな変化がありました。

1つは去年の8月、息子が産まれたことです。現在は9ヶ月になるかというところで、少しづつハイハイを始めています。子の成長を日々感じ、うれしく思っています。

もうひとつはこの4月に役職が変わったことです。入社以来営業畑を歩んで参りましたが、未経験である管理部の部長職を拝命いたしました。営業職も引き続き兼務しながらの人事となり、慣れない業務に悪戦苦闘を続けております。

諸先輩方の皆様には、以前にも増してご指導ご鞭撻のほど賜りたく思っております。今後ともよろしく願いたします。ありがとうございました。

岡 隆夫 会員

2月10日創業40周年を迎えることができました。地域の皆様、ご支援いただけるお客様、そしてこうやって教えていただける機会をいただけるロータリーの仲間のおかげです。ありがとうございます。

弊社では、地域で必要とされる人材育成、店づくりに力を注いでいます。一方では、四国高松から世界に情報発信のできる企業となるべく、香川大学に留学していたシュー君をスタッフとして迎え入れ、海外事業(東南アジア マレーシア)に向けての輸出事業に参戦いたしました。また、スリランカに向けてのパートナーとして稼働します。人のご縁を大切に真直ぐに生きていきます。

新会員入会式

- ・白鳥 一雄会員 株式会社百十四銀行 専務執行役員本店営業部長
- ・杉元 幹史会員 香川大学医学部 泌尿器科学 教授
- ・伊藤伸一郎会員 大和証券株式会社 高松支店支店長

幹事報告

会員数:59名 1月Rレート:1ドル=109円

5月19日 5月26日 休会

例会変更 他クラブ WB掲示

ココニコ箱

白井会員「御誕生日ありがとうございます。還暦を迎えます。真っ赤なゴルフウェア子供達がプレゼントしてくれました。」

田中(弘)会員

岡(隆)会員「誕生日祝いありがとうございます。笑顔と元気いっぱい一年間かけ抜けます。」

今城会員「誕生日お祝いありがとうございます。」

多田会員「誕生日プレゼントありがとうございました。51才になりました。新しいビジネスにチャレンジしています。世のため人のためになることをやりたいです。」

ソバハニ会員「一日会、優勝しました。皆様のおかげ様で3名の新会員入会おめでとうございます。皆様で、庵治の家に遊びに来て下さい。」

住田会員「結婚記念日のお花ありがとうございました。」

大西会員「結婚記念日のお花ありがとうございました。」

詫間会員「遅刻してしまいました。すみません」

計¥22,000 合計¥489,000

会員掲示板

●メイクアップ

豊田会員、森(敬)会員、前田会員、新地会員、森(恒)会員、上村会員、堀川会員、増尾会員、多田会員、小野会員、岡(隆)会員、松木会員、木村会員、田中(理)会員、ソバハニ会員

●ロータリーソング

「国歌」「我等の生業」「バースデーソング」
ソングリーダー 住田会員

2021年5月例会予定 青少年奉仕月間

No.	日	時間	場所	例会プログラムおよびその他	備考・地区・分区等
	5			休会（定款第8条第1節による）	
32	12	12:30~	JRホテルクレメント高松	卓話「青少年奉仕について」 青少年奉仕委員会	14日 RI会長代理歓迎晩餐会 15日 地区大会 (サンポート高松)
		13:30~		定例理事役員会	
	19			休会（定款第8条第1節による）	新型コロナ流行のため休会 23日一日会
	26			休会（定款第8条第1節による）	新型コロナ流行のため休会

2021年6月例会予定 ロータリー親睦活動月間

No.	日	時間	場所	例会プログラムおよびその他	備考・地区・分区等
33	2	12:30~14:00 (食事なし)	JRホテルクレメント高松	第6回クラブ協議会（各委員長活動実績発表） 次年度第1回クラブ協議会	短期交換学生受け入れ“中止” 次年度委員長にイエローブック引渡し
		14:00~14:30		理事役員会	
	9			休会（定款第8条第1節による）	新型コロナ流行のため休会 12~16日国際大会(台湾台北)“中止”
	16			休会（定款第8条第1節による）	新型コロナ流行のため休会
34	23	12:30~14:00 (食事なし)	JRホテルクレメント高松	第7回クラブ協議会 次年度第2回クラブ協議会（次年度各委員長活動計画発表）	
35	30	12:30~	JRホテルクレメント高松	第8回クラブ協議会（5大奉仕活動実績報告）	

5・6月の誕生者
~おめでとうございます~

5月	佃 昌道 (1日)、岡 隆夫 (2日)、吉田 直由 (2日)、今城 広治 (9日)、 田中 弘之 (27日)、白井 克彦 (28日)
6月	住田 英樹 (3日)、牟禮 昌史 (7日)、藤田 徳子 (12日)、金岡 紀嘉 (16日)、 田中 理 (16日)、伊藤 伸一郎 (16日)、宮脇 光男 (17日)、 白鳥 一雄 (18日)、新地 良洋 (22日)

	例会日	正会員	出席免除	免除出席	出席数	欠席数	補填数	補正出席数	出席率
3月出席率	3月累計	295	55	38	201	77	9	210	75.60 %
4月出席率	4月累計	228	44	7	39	13	1	40	75.50 %

編集後記

「うそも方便」と云う言葉があります。この方便とは、仮の話をして、真実の教えに導く手段を指す仏教用語の一つと教えています。仏教の教えを伝えるために、理想や論理なことだけでなく、現実的なことや物を例えに入れてわかり易く説くことです。ただ、方便が過ぎると本質にたどり着きにくくなるので、十分に気をつけなければいけないとされます。「大日経」には、如来の知恵の現れである三句の法門の一つとして、方便が説かれています。仏道修行に限らず、物事を進めるためには方便が必要なこともあります。方便が仏様の知恵の現れであることでしょう。

例えば数学の方程式をみてみれば、いかにもわかったようにXやYで式を立てていきます。中高の数学なら解けていきますが、「リーマン予想」といわれる何世紀にもわたって未解決の問題が数多くあります。1億円の賞金がかかっています。素数に関する問題だといわれていますが、編集子の頭脳程度では、問題の意味さえわかりません。ただ、このリーマン予想が解明されれば、素

粒子理論など物質の根源はなにかの地球も宇宙もそのものの仕組みをあきらかにする一助になると考えられています。コンピューターの世界は2進法の世界です。ゼロ(OFF)と1(ON)の世界ですから、10進法の15は2進法では1111で16は10000と数えます。0と1しかありません、だから「1位でないといけません。2位ではだめなのです」2位に甘んじてはいけません。1位になる努力の積み重ねが必要です。「本気の努力を続けていれば報われる時もある」と仏法世界では教えています。淡々と努力をし続け、報われない現状にも耐え、あるいは柔軟に困難と立ち向かっていけば、ノーベル賞受賞者の山中教授や過去の偉人達のように、何時か花開く時がやってくると思います。こんな壮大な三千世界に普遍的に存在するのが、寄り添い、支えあう、奉仕のところです。そんな奉仕のところがいっぱい詰まったロータリアンの集いが毎週、確実に開催できる、コロナを克服した世になるように、お互いワクチン接種を済ませて免疫力を高めて集いましょう。(編集子)